

—指定の名称は「村上祭の屋台行事」—



一番 久保多町【おはやし屋台】
乗せ物：住吉神社の景



二番 大町【しゃぎり屋台】
乗せ物：諫鼓に鶏



三番 寺町【しゃぎり屋台】
乗せ物：費長房



四番 大工町【しゃぎり屋台】
乗せ物：高砂の尉と姥



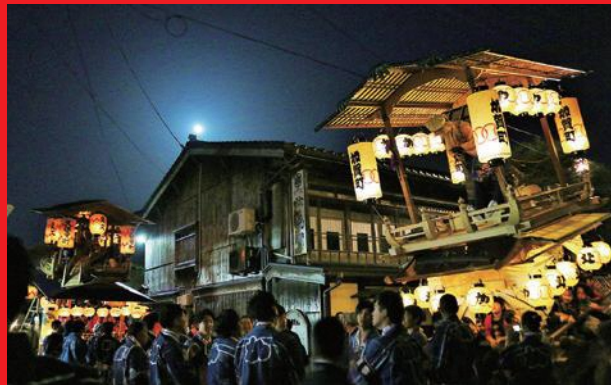
五番 小町【しゃぎり屋台】
乗せ物：大黒天像

無形民俗文化財に指定

今年3月8日(休)、「村上祭の屋台行事」が国の重要無形民俗文化財に指定され、保護団体の村上まつり保存会(加藤悦郎会長)に指定証書が交付されました。各地に存在する山・鉦・屋台行事としては全国で36番目、県内では初めての指定です。村上市では「山北のボタモチ祭り」(平成11年12月21日指定)に続いて2件目の指定となります。

また、この指定と村上市制施行10周年を記念して、4月29日(日・祝)、おしゃぎり巡行が行われました。午後5時30分、村上市役所前に16台の屋台が集結。祝賀の神事を終え、提灯に明かりをともした屋台が大町、小町の商店街を練り歩きました。

●問い合わせ 生涯学習課文化行政推進室 ☎53-7511 (直通)



十番 小国町【しゃぎり屋台】
乗せ物：孟宗像



九番 安良町【おはやし屋台】
乗せ物：住吉神社の景



八番 細工町【おはやし屋台】
乗せ物：三番叟



七番 上町【しゃぎり屋台】
乗せ物：大梵鐘



六番 塩町【しゃぎり屋台】
乗せ物：狸々像

祝 村上大祭が国の重要



十九番 泉町〔にわか屋台〕
乗せ物：二宮金次郎像



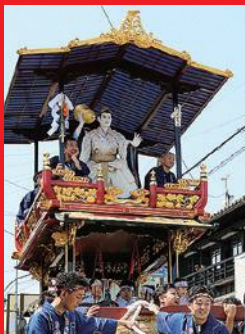
十八番 加賀町〔にわか屋台〕
乗せ物：舌切雀の翁像



十七番 上片町〔おはやし屋台〕
乗せ物：天鈿女命像



十六番 片町〔おはやし屋台〕
乗せ物：蘭陵王像



十五番 庄内町〔しゃぎり屋台〕
乗せ物：瓢鮎図



十四番 羽黒町〔しゃぎり屋台〕
乗せ物：大天狗面



十三番 長井町〔しゃぎり屋台〕
乗せ物：布袋像



十二番 肴町〔しゃぎり屋台〕
乗せ物：恵比須像



十一番 鍛冶町〔おはやし屋台〕
乗せ物：二見浦の景



未来へつなぐ 村上大祭

村上大祭とは

村上大祭は江戸時代から村上天宮で行われてきた祭礼行事で、城下の総鎮守である西奈彌羽黒神社の例大祭です。毎年7月6日(宵祭り)・7日(本祭り)に行われています。

寛永10(1633)年に西奈彌羽黒神社の新しい社殿が完成して、その遷宮祭を行ったことが始まりとされています。

本祭りでは、早朝から14騎の荒馬、4基の傘鉾、19基の屋台などが神社前に集まった後、神輿とともに旧城下を夕方まで巡行します。夕方に神輿が神社に戻ると、荒馬、傘鉾、屋台も各町内に戻りますが、その際に屋台は提灯をともしにぎやかに帰ります。

屋台は新潟県下越地方に分布する二層二輪形式の屋台で、一層目に囃子方が乗り、二層目に乗せ物と呼ぶ人形類を乗せています。いずれも城下で培われてきた木工や漆工などの職人技術で作られたもので、屋台の形態もにわか屋台、お囃子屋台、しゃぎり屋台の三種があり、形態の移り変わりを読み取ることができます。



▲毎年3年生が村上大祭を学習し、「ミニ村上大祭」として手作り屋台を引き回しています(村上小学校)

山・鉾・屋台が巡行する行事は全国各地にみられ、江戸時代に城下町で成立・発展し、現在まで継承されてきた行事も多くみられます。

村上大祭は我が国の山・鉾・屋台行事、特にこれまで指定がなかった新潟県下越地方における典型例であり、周辺地域にも大きな影響を与えてきたことから、城下町祭礼や山・鉾・屋台行事の地域的な展開を考える上で重要であると評価され、重要無形民俗文化財に指定されました。

385回目となる今年の村上大祭は、重要無形民俗文化財に指定されて最初の年。本祭りの7月7日は土曜日当たることから、大きな注目を浴びるとともに、大きな期待が寄せられるお祭りとなることでしょう。

大好き、村上大祭～次世代を担う子どもたち～



ふじた りつ 藤田 律さん (加賀町)

村上小学校6年

私は生まれたときから、ずっと村上大祭に参加しています。大好きなお祭りが重要無形民俗文化財に指定されて、とてもうれしいです。

町内の方や父に笛を教えてもらい、上手になりました。

私は大人になってもいつまでも村上大祭に関わって盛り上げていきたいです。



はただ りゅうだい 畑田 龍大くん (大町)

村上小学校5年

僕は村上大祭で大町の屋台の鉦を担当しています。

村上大祭は古くからある伝統的なお祭りなので、重要無形民俗文化財に指定されて、とてもうれしかったです。このことをきっかけに、全国の人が村上大祭を知り興味を持ってもらい、村上に来てくれたらうれしいです。



なかもら ふうと 中村 楓斗くん (羽黒町)

村上南小学校6年

僕は、村上大祭などの伝統や歴史がたくさんある村上が大好きです。お祭りは小学校1年生の時から本格的に参加しています。最初は太鼓をたたくのが難しかったけれど、今では太鼓や鉦もうまく演奏できるようになりました。

重要無形民俗文化財に指定された村上大祭を、これからも守り続けていきたいです。

さて、国の指定に向けての活動は、10年前から保存会顧問の故石栗源太郎さん(小国町)がご尽力され、秋田県角館町の故高橋雄七氏(元角館お祭り保存会会長)に指導を仰ぎながら、行ってまいりました。そしてこのたび、全国に1500余りの祭屋台行事がある中で36番目、新潟県では初となる指定を受けることができました。

今年3月の指定証書交付式では、文化庁が作成した村上まつりのスライドで村上小学校のミニ村上大祭も紹介され、子どもたちが一生懸命に屋台をあおっている姿に、会場からは感心する声が聞かれます。

ますますの発展を願う



かたつ ゑき 悦郎さん (上町)
村上まつり保存会会長

重要無形民俗文化財の指定に至るまで

〔平成23年10月〕

村上まつり保存会が「全国山・鉦・屋台保存連合会」に準会員として加入

〔平成25年6月〕

村上まつりの無形民俗文化財調査(文化庁補助事業)開始

〔平成27年11月〕

祭屋台等製作修理技術者研修会村上大会開催

〔平成28年3月〕

村上まつりの無形民俗文化財調査終了、調査報告書刊行

〔平成29年7月〕

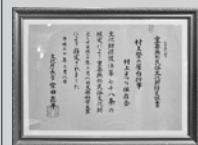
文化庁による村上まつり現地調査

〔平成30年1月〕

文化審議会より「村上祭の屋台行事」国指定の答申

〔平成30年3月〕

指定証書交付、官報告示



した。ミニ村上大祭を指導してくれている鍛冶町の堀田治之さんにも感謝しています。

また、この指定を一番に喜んでくれるはずの故石栗源太郎さんに感謝と喜びを報告したいと思えます。

誇りある村上まつりの良き伝統を、皆さまと共によりしっかり後世につないで、発展につながることを願っています。